

Beam tuning 案 大津 2010/6/4

6/11 (金)

上野実験終了 9:00

D8-Kappa 電源切り替え、冷却水確認 (日下さん)

NDQ 移動 : 11:移動、12:アライメント (柳澤さん、日下さん)

D7 出口フランジの撤去を含む。

F8 ダクト取り外し、アライメント冶具を STQ17 にとりつけ

(実験グループアライメント用、12 でも可)

Kappa 励磁テスト

Am-Be ソースのかり出し(Nal ゲイン変動テスト用)

6/12 (土)

NDQ 移動(継続)

Kappa 励磁テスト(継続)

Nal の漏れ磁場によるゲイン変動を調べる。

実験グループアライメント開始(-16?)

F5 作業、PPAC1、plastic を外す。MWPC 設置 (大関+竹田さん)

6/13 (日)

F5 MWPC テスト(真空、ベータ線)

p2p 架台アライメント開始

6/14 (月)

NDQ インフラ接続 (柳澤さん、日下さん)

中性子検出器位置決定(p2p 架台上の検出器のアライメント前にする必要あり)

6/15 (火)

NDQ 励磁 (柳澤さん、日下さん)

DC 他アライメント

6/16 (水)

F2 作業、t シールド設置(大津) t シールドの納期に依存  
F3 作業、plastic F3 を 3mm から 1mm に交換する必要がある。  
F3/F7 回路修正(PMT Amp、Discr を設置)

6/18 (金)

F0 生成標的交換作業(あ吉田さん)

未定項目

F12 真空引き

—————以下 original meeting memo

100604 打合

6/11(Fri) 9:00 48Ca end

NDQ 移動(11-12)  
けがきが雑

上流から見る。

D7 のケガキを見せるのがよい。

NDQ process

14 インフラ、

15 励磁

アライメントは 0.5mm 程度に押さえ込む。

F8 のダクトはずしは 6/11-12 のタイミングでお願いをする。

STQ17 前のアライメント治具をお願いする。

実験グループアライメント (12-)

F8 のダクトを入れ込むタイミングは 14- の週のいつかで、連絡をする。

#### F0 ターゲット

担当はあ吉田さんに依頼済のはず。

6/18-20 頃

Be 40,60mm

#### F1 デグレーダ

15mm、10mm、8mm、3mm が入っている。交換必要なし

田中さんに radiation をはかってもらう。

#### F2 t シールド

6/16 頃に仕込みたい。

大津担当で、BigRIPS 側に作業を手伝ってもらう。

#### F3

Plastic 1mm に交換の可能性あり。現状 3mm が入っている。

交換の予定あり。

やるなら 6/16

#### F5

MWPC をインストール予定。(6/12-13 予定)

plastic を外す。PPAC1 もはずす。(6/11 に BigRIPS 側に手伝ってもらう。)

#### F7

1mm plastic インストール済

作業なし。

#### F3/F7 回路

Photomul AMP+ Discrri を挿入する。

#### マトリックスを LISE にいれる方法

竹田さんに教えてもらう。

#### F12 の真空引きは立ち会う。

#### F5 MWPC テスト

ベータ線のテストは17の深夜にはおしまいにする。

一回目は立ち会ってもらおう。

BigRIPS tuning のタイミングで、focusing(F8-FKappa)は実験者が竹田さんから習う。

#### Focusing

F2/F8/FKappa を重点的にやる。

実験者はFKappa の profile をリアルタイムで提示する。

#### Kappa 励磁

6/11 に D8 から切り替える。

#### 順番の考え

Li9 (li8-6 はスケールでやる。)

Li11

He6 (He4-3 はスケール)

He8

p